

令和8年度事業計画

【基本計画】

昨年は地球温暖化の影響により、記録的な暑さとなりました。

日本周辺の海面水温の上昇や、局地的な大雨が頻繁に発生するなど、私たちを取り巻く環境は大きく変化しました。

酷暑による熱中症対策として、当センターでは就業会員の皆様に、水分補給やこまめに休憩を取るなど注意喚起を行いました。

特に屋外で就業する会員の皆様には就業時間の見直しや作業の中止など、健康を害することの無いよう予防対策に努めました。

今後も「安全は全てに優先する」ことを基本に、常に危機管理意識を持ち、熱中症予防対策をはじめ、就業途上や就業中の事故防止策を図りつつ、日常生活における健康維持管理にも注目し、フレイル予防などの充実に努めます。

高齢化の進展や定年延長などの影響から、会員の平均年齢も高くなってきていますが、「生涯現役」として活躍し続けられる機会を提供できるよう、幅広い職種の獲得のため就業開拓を推進します。

発注者様（企業・個人・公共）には、仕事の依頼先として信頼され、安心してお任せいただけるように、各種講習会の充実に図り、会員の資質向上に努めます。

昨年度からフリーランス新法による新契約に移行し、会員と発注者間の取引の適正化や安心して働ける環境整備に努めていますが、更に、公益法人制度改革にも適切に対応してまいります。

また、請負契約から派遣契約への変更が必要となる職種についても、発注者様にご理解いただきながら適正化に努めます。

令和9年度からの中期基本計画策定については、中期基本計画策定委員会を設置し、時代に合った事業の見直しや、新たな取り組みなど様々な観点から計画・立案してまいります。

令和8年度も「自主：自立・共働：共助」の基本理念のもと、会員・役職員が一体となり適正な事業運営に努めてまいります。

所沢市や関係機関の皆様には、今後も変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

【実施計画】

・会員拡大

シルバー人材センターは会員組織であることを念頭に会員活動のPRを積極的に行い「新たな仲間づくり」に繋がる取り組みを推進してまいります。

入会理由・入会動機、登録会員の高齢化・女性会員の比率向上等、近年の会員状況の傾向と対策を講じるような活動を企画し、明るくいいきとしたセンターを目指します。

・入会促進と説明会の充実

入会者が増加する時期に応じて実施回数の増加や女性会員を対象とした説明会等、入会希望者のニーズに応じた内容の工夫を行いながら新入会員の増進に努めます。

・入会キャンペーンの実施

地域イベントでのノベルティ・チラシの配布によるセンター認知度の向上や入会者の増加を図るための多種多様な方策をキャンペーンとして実施し会員拡大に繋がります。

・女性会員数の比率向上

女性会員がいいきと活動している姿や活動内容をセンターホームページ・入会説明会等で紹介し入会を促進してまいります。

更に、女性部会の活動として就業体験談、活動体験談を共有して絆づくりが行えるイベント等を企画し、女性会員の活性化を図り比率向上に繋がります。

・退会抑制

就業・サークル活動・ボランティア活動と会員の皆さまが活動を選択でき、楽しく継続して会員に留まっただけのよう、会員ひとりひとりがいきがいを持っただけの活動内容を展開してまいります。

また、退会理由の統計・分析を行い、効果的な退会抑制活動を推進いたします。

・会員特典

会員証を提示し市内の店舗・施設を利用すれば特典が受けられ、会員活動（就業・サークル・ボランティア）以外でもメリットを感じていただき、会員として登録を継続していただけるような取り組みを進めてまいります。

・独自事業の活性化

会員の皆様と地域が活性化する事業を企画立案し、年齢・性別に関係なく「いきいき」と活動できる事業として推進し退会抑制に努めてまいります。

- ・サークル活動の推進

会員の皆さまが共通の趣味を通じて活動するサークル活動があります。

就業以外の会員活動として入会説明会・会員研修会等で紹介し、多くの会員の皆様に参加していただき、仲間づくり・会員間の親睦に繋げ、楽しく長く活動していただけるようPRに努めてまいります。

- ・ボランティア活動の推進

住み慣れた地域での社会貢献活動として小手指ハナミズキ通りでの環境美化（清掃）をはじめとしたボランティア活動を行っております。

活動のPRを進め、更なる参加者を募るとともに、活動場所を拡大しながら多くの会員の皆さまに参加していただき退会抑制に繋がります。

- ・安全就業の徹底と健康増進

会員や、ご家族の皆様が悲しい思いをしないよう、センターとして安全については最重要事項として取り組みます。

全国シルバー人材センター事業協会・いきいき埼玉(埼玉県シルバー人材センター連合)と連携しながら事故の傾向と対策を踏まえ安全就業の徹底を図ります。

また、事故防止とともに、健康増進を目的としたフレイル予防活動の推進に努めます。

- ・安全就業ニュース等の活用

全国シルバー人材センター事業協会より発行される月刊シルバー人材センターや安全就業ニュースを活用し安全に対する好事例の取り組み、事故発生事例を基に安全対策としての広報とともに研修会・講習会を開催し安全意識の高揚に努めます。

- ・安全キャンペーンの実施

高齢化に伴う事故が増加傾向にあり、事故の多い職種を対象にした安全キャンペーンの実施とともに「自転車乗り方講習」「自動車安全講習会」「刈払機取扱い講習会」を実施し、日常生活・就業時の事故発生防止に繋がります。

- ・フレイル予防の実施

会員の事故発生要因は転倒・転落が半数を占めております。

体力の低下・足腰の衰えによる事故を防ぐため、全国シルバー人材センター事業協会・いきいき埼玉(埼玉県シルバー人材センター連合)と連携しながら、また、所沢市シルバー人材センターとしてもフレイル予防教室を開催し、会員の皆さまの健康維持・増進に繋がる活動を実施します。

・広報活動の推進

センターホームページ・つどいの樹を中心にシルバー人材センターの活動状況・内容を市民・会員の皆さまに知っていただく情報発信手段として下記の広報活動を展開します。

・ホームページの活用

センターホームページに事業内容・活動内容を載せ、仕事の発注・入会促進・活動へ参加していただけるよう広報活動を推進します。

・広報誌「つどいの樹」の発行

年4回発行しているセンター広報誌「つどいの樹」を通じて会員の皆さまとの情報共有・コミュニケーションの向上に努めます。

更に、読みたくなる紙面構成を心掛け、センターの事業内容・会員の活動内容を案内いたします。

・イベント活動

独自事業として活動しているイベント班を中心に市民フェルティバルや地域のイベントに積極的に参加しセンター活動のPRを行います。

・地域社会との連携

シルバー人材センターを取り巻く環境変化への対応として、地元自治体・福祉関係団体等との連携は事業を継続する上で必須の条件との考えの基、事業展開を行ってまいります。

・トコロみまもりネットへの参加

地域の高年齢者のいきがいくりに貢献する団体として、会員の皆さまが安心・安全に活動できるよう、地域住民、協力機関、協力事業所で作るネットワークへ参加し、事業活動のなかでの見守り・声かけを行いながら行政（所沢市高齢者支援課）や地域包括支援センター・社会福祉協議会と連携を図りながらの事業運営を行います。

・リーディングプロジェクトへの協力

所沢市が策定した5つのリーディングプロジェクトへ、シルバー人材センターとして事業活動を通じ協力していきます。

特に、プロジェクトの中心として据えられた「こどもを中心としたまちづくり」に会員の豊かな経験を活かし、地域連携を深めながら、会員の皆さまとともに行政支援活動に取り組んでまいります。

- ・共生社会への取り組み

令和7年度の全国のシルバー人材センターの会員平均年齢は75歳を超え、所沢市シルバー人材センターの平均年齢も75.5歳と会員の高齢化は顕著になっております。

また、会員の半数以上が後期高齢者となり、今後の高齢化がさらに進むなか、シルバー人材センターとしても認知機能の低下に対する理解・対応は大きな課題となっていくます。

シルバー人材センターとして、認知症に対し正しく理解し、偏見を持たないよう「誰もが支え合うことができる活力ある共生社会」への取り組みを推進してまいります。

- ・組織基盤と連携強化

県内でもトップ5に入る規模のシルバー人材センターとして組織（役員体制・事務局）の活性化に努めます。

更に、近年のシルバー人材センターに関連する法改正（フリーランス新法・新公益法人会計基準）への対応、事業運営方法の改善を目的とした先行事例の視察・情報交換を行います。

各施策を実施するセンター各部門・各委員会と課題の共有・情報の共有を通じて円滑にコミュニケーションを図り、課題解決への体制強化に繋げる活動を実施してまいります。

- ・デジタルを活用した利便性の向上

就業情報の取得・就業報告を含めた会員の皆さまの利便性の向上に繋げる為、また、職員の事務負担軽減・経費削減を目的とした会員専用ホームページ（Smile to Smile）を始めとしたデジタルの活用を促進します。

- ・視察研修の実施

情報交換・先進的な取り組みを知ること、センター間の繋がりを目的に、役員・委員会・事務局職員が他市センターへ視察に伺い、法改正への対応・事業内容・事業運営方法を学びセンターの運営体制の強化を推進してまいります。

- ・研修・講習への参加

全国シルバー人材センター事業協会・埼玉県シルバー人材センター連合（いきいき埼玉）主催の研修会への参加を通じ、役職員が知識・見聞を深めると共に、研修・講習を機会に外部との連携を図りながら体制の強化に繋がります。